



丹波市

丹波市指定

無形民俗文化財

青田神楽保存会

神楽





青田神楽は、その起源は定かではないが、享保年間(約三百年前)にはすでに行われていた記録がある。「大歳神社」氏子(青田・篠場)の安寧と五穀豊穡を祈って毎年秋祭りに奉納している。

青田に伝わる神楽は、獅子頭を使ういわゆる伊勢大神楽系の獅子舞で、その囃子(はやし)には太鼓・締め太鼓・篠笛を使用する。

舞うのは獅子のみの演目と、獅子と天狗が共に舞う演目があり、なかでも子供が台役の大人の肩の上ののっていくつも所作を行う「背継ぎ」という曲芸的な演目が青田神楽の大きな特色となっている。

演目は、①荒神祓い(こうじんばらい) ②獅子と天狗)、②四方舞(しほうまい) ③獅子と天狗)、③剣の舞(つるぎのまい) ④獅子単独)、④地舞(じまい) ⑤獅子単独)、⑤花獅子(はなじし) ⑥獅子と天狗)、⑥鈴の舞(すずのまい) ⑦獅子単独)、最後に⑦背継ぎ(せつぎ) ⑧獅子と台役)という曲芸的な演目が行われる。なお、本宮では背継ぎの前に子天狗(こてんぐ) ⑨獅子と子供天狗)が披露される。

名称 青田大歳神社奉納神楽舞

保持団体 青田神楽保存会

奉納日時 体育の日の前々日(宵宮)午後7時頃  
体育の日の前日(本宮)正午頃

奉納場所 丹波市山南町青田 大歳神社境内

